

平成23年度に建設工事で発生した事件事例（落下物・飛来物による事故）

事故概要：

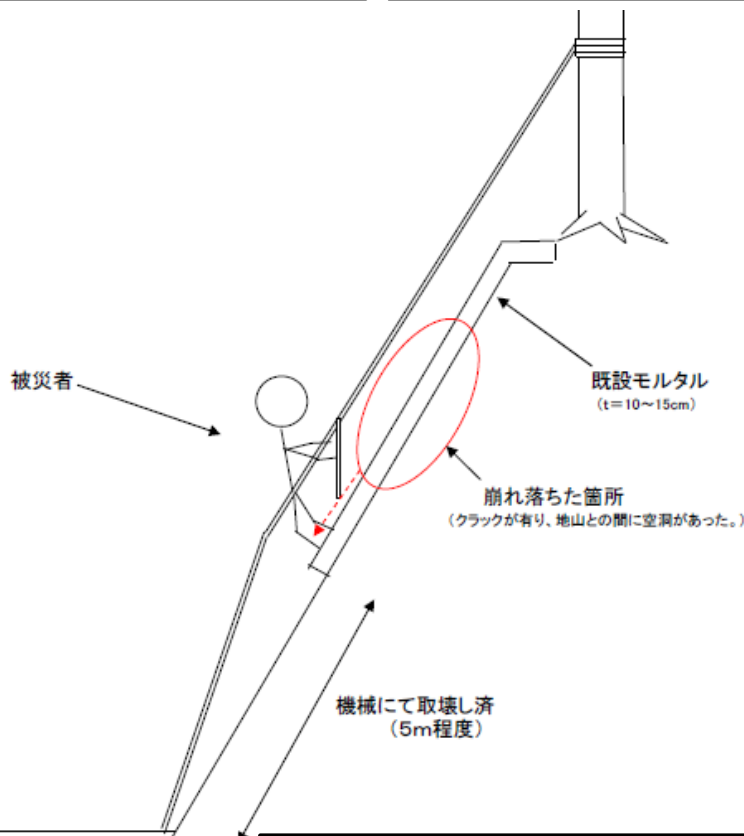
既設モルタルのクラックの深さを調査しようとロープを付けて法面を移動していたところ、1～2m上部から既設モルタルが剥がれて斜面に沿って落下し、その一部が作業員の右足に当たり負傷した。

事故原因：

クラック発生箇所の上部の状態を十分に確認せず、下部から打音調査を行った後に法面を移動した

改善対策：

法面の上から順次打音調査等を行い、不安定箇所の把握を行う



分類：法面工、事前調査

勾配 1:0.8

被害状況：6か月の加療（右開放性下腿両骨骨幹部骨折）

令和2年度に建設工事で発生した事件事例（転落事故）

【事故概要】

被災者が、起工測量中に斜面法肩から下方へ移動する際、足を滑らせ15m程斜面を滑落し負傷した。

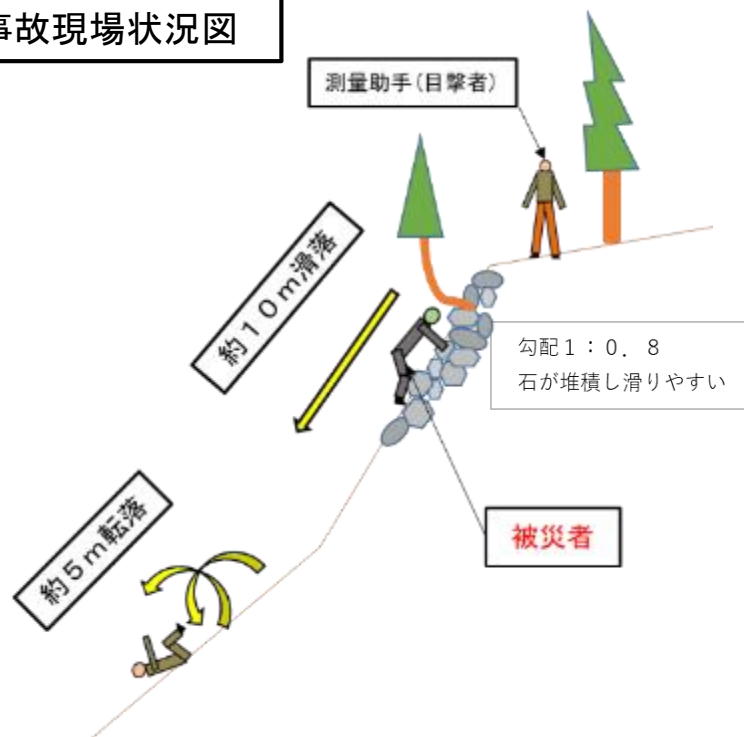
【事故原因】

- ・被災者は、斜面に設置された親綱を使用せず、雑木を利用して斜面を移動していた。
- ・被災者は、墜落制止用具を装着していたが、親綱にかけておらず、同用具が用を為していない状態であった。
(省略行為:不安全行動の1種)

【改善対策】

- ・現場は、堆積した石があり滑落の危険が高いため、危険範囲を明確にするため、施行範囲外周にロープを設置する。
- ・斜面を移動する場合は、墜落制止用具等の適切な使用を徹底する。
- ・斜面上部への移動は、安全な通路を使用する。

事故現場状況図



事故現場状況写真



【分類】法面工、事前調査

【被害状況】業者自身 1名 頭部挫創、肋骨骨折、両下腿汚染創 3日間入院)